

1. 単元名 「昔から今へと続くまちづくり（二ヶ領用水）」

2. 単元づくりのポイント

(1) 教材化

本単元では、地域の発展に尽くした先人は様々な苦心や努力を重ねて業績を成し遂げたことや、その苦心や努力が当時の人々の生活の向上や地域の発展に大きく貢献したことなどを基に、戦時の働きについて理解するようにします。本単元は、例えば、用水路の開削や堤防の改修、砂防ダムの建設、農地の開拓などを行って地域を興した人、藩校や私塾などを設けて地域の教育を発展させた人、新しい医療技術等を開発したり病院を設立したりして医学の進歩に貢献した人、新聞社を興すなど文化を広めた人、地域の農業・工業・漁業・工業などの産業の発展に尽くした人など、「開発、教育、医療、文化、産業など」の面で地域の発展や技術の開発に尽くした先人の具体的事例の中から一つを選択して取り上げます。

(2) 学習過程

本単元では、当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、例えば、当時の人々の生活や世の中にはどのような課題があったか、人々はどのような願いをもっていたかなどの問いを設けて調べたり、先人の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現するようにします。

実際の指導に当たっては、先人が用いた道具や技術に見られる工夫、実際の取組の様子、当時の社会に与えた影響などを調べる活動などが考えられます。

(3) 学習活動

本単元では、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめるようにします。先人の働きについて、博物館や資料館などを見学したり、昔と現在の市の地図や写真などの資料で調べたりして、年表などにまとめるようにします。ここでは、博物館や資料館などを見学して必要な情報を集める技能、地図や写真などの資料を結び付けながら情報を読み取る技能、調べたことを時間の経過に沿って年表などに整理する技能などを身に付けるようにすることが大切です。

3. 単元目標

二ヶ領用水開削・維持・改良などにかかわった人々の働きについて、当時の課題や人々の願いに着目し、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、小泉次大夫らが地域の発展につくした様子を捉え、先人の働きを考え、表現し、地域の発展に尽くした先人は様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解するとともに、主体的に学習問題を追究し解決する態度を養う。

4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
①当時の世の中の課題や人々の願いについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして必要な情報を集め、読み取り、小泉次大夫らが地域の発展に尽くした様子について理解している。 ②調べたことを年表などにまとめ、地域の発展に尽くした先人は様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。	①当時の課題や人々の願いに着目して、問いを見出し、小泉次大夫らが地域の発展に尽くした様子について考え、表現している。 ②先人の働きと地域の発展や生活の向上を関連付けて、先人が当時の地域や人々の生活の向上に貢献したことを考え、表現している。	①二ヶ領用水開削・維持・改良などにかかわった人々の働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習の問題を追究し、解決しようとしている。

5. 単元の構想と評価（10 時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○）と具体的評価規準
<p>①②水道がなかった頃の世の中の課題や人々の願いに着目して、問いを見出し、予想や学習計画を立て主体的に学習の問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、「飲む・洗う・楽しむ・生き物を育てる」などの際に、多くの水を使っていたね。 ・水道のしくみがなかったころは、どうしていたんだろう。 <p>用水ができる前の様子の想像図（副読本「かわさき」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この地域には小さな村しかなくて、少ない人数で米作りをして暮らしていたんだね。 ・年貢も納めなければいけなかったんだね。大変だ。 <p>稲を育てるための水の量（副読本「川崎市の水道」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご飯一杯分の稲を育てるだけでも、こんなに水が必要だったんだね。もしも雨が思うように降らなかったら、大問題だ。 ・でも、雨が降りすぎたら、今度は川が氾濫して「暴れ川」になっていたらしいよ。 <p>小泉次大夫について（副読本「かわさき」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水に困っていた様子を見て、小泉次大夫という人が徳川家康に二ヶ領用水づくりを申し出たんだね。 ・用水は、自然にできた川じゃないんだ。掘ったのかな。 <p>二ヶ領用水を利用していた地域の地図（副読本「かわさき」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小泉次大夫はこんなに広い地域の用水をつくったの！？ ・網の目のように平らな土地を潤しているね。 ・この時代の人、どうやって水を得ていたのかな。 <p>（単元を見通す学習問題） 昔の人々は、どのようにして水を手に入れたのだろうか</p> <p>予想をもとに、学習計画を立てよう</p> <p><予想や学習計画> <u>どうやって用水を作ったのかな</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの人が協力したのかな。何年もかかったはず。 ・この水は多摩川の水かな。手作業かな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前単元「飲料水」の供給の仕組みを想起できるよう、掲示などを活用する。 ○「年貢」は馴染みがない概念なので、生活の様子をとらえられるように補足をする。 ○普段水田を見る機会がない子も多いので、水田の写真や体験を通して大量の水が必要であることを実感できるようにする。 <p>（思－①） 水道がなかった頃の世の中の課題や人々の願いに着目して、問いを見出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現在の様子と比べながら昔の様子を想像できるように、まちの用水跡や古地図などを活用する。 ○広さに驚きをもてるように、地図資料を提示する。

→用水が作られた様子について調べたい
つくった後、どうなったのかな

- ・みんなの願いはかなったのかな。このまちで米作りがたくさんできるようになったのかな。最近になってこの堀は埋めてしまったのかな。

→作る前や後のこの地域の変化について調べたい。

小泉次大夫が、東京や川崎を広く水を行き渡らせたことは、きっとすごいことだ。二ヶ領用水を作った人々の様子や、そこからどう今につながっているか調べたいな。

③④⑤見学・資料などをもとに調べ、まとめ、先人の苦心や努力、工夫について分かるようにする。

昔の人々は、どうやって二ヶ領用水を作ったのだろうか

市民ミュージアムを見学する計画を立てよう

- ・どうやって用水を作ったのかな
- ・たくさんの人が協力したのかな。何年もかかったはず。
- ・手作業かな。何か道具を使ったのかな

市民ミュージアムを見学しよう

- ・もっこは重いなあ。他にもいろいろな道具があるね。
- ・小泉次大夫の下、農民たちが協力して掘ったんだね。
- ・完成まで14年もかかったんだね。

浄水場で見学したことをまとめよう

もっこを使って、あんなに重いものを毎日運び続けるなんて大変だったと思うよ。農民は一生懸命協力したんだね。

⑥先人の苦心や努力、工夫について、見学・資料などをもとに調べ、水を広く行き渡らせようとした次大夫や、協力した人々の働きが分かるようにする。

用水の距離と高低差

- ・用水は長い距離がある割に、高低差はないんだね。
- ・機械がない時代にどうやって？

○それぞれの疑問から予想、学習計画につなげられるよう整理する。

(態-①)

二ヶ領用水について、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。

○前時の学習をもとに事前に見学の視点をもつようにする。

(知-①)

ミュージアム見学などをもとに、まとめ、先人の苦心や努力、工夫を理解している。

○作業の困難さを想像できるように、水の学習の「自然

小泉次大夫たちはどうやって平らな土地に広い用水を掘っていったのだろうか

平らな土地に水を流す工夫

- ・次大夫は、長い期間の測量をして、昔の川の跡を活用した。
- ・堰を作って水に勢いをつけた。

堰の様子（副読本「かわさき」「ミュージアムノート」）

- ・堰は、水を完全にせき止めるわけではないだね。
- ・取り入れ口だけでなく、様々な場所に堰があったんだね。

広い地域の用水路を掘るために

- ・幅も深さもけっこうあるぞ！道具を使っても、これは大変！

工事の工程表（副読本「かわさき」）

- ・3ヶ月おきにして、小泉次大夫は農民の負担も考えていたんだ。
- ・小泉次大夫は一年中働いている。農民と協力していたんだね。

小泉次大夫は、この地域に合わせて工夫をし、多摩川の水を引いたり、村から村へと広げたりすることができた。知恵を生かして解決していてすごいな。

⑦小泉次大夫たちの業績を年表にまとめ、用水完成により人々の願いが叶い、流域の地域が発展したことを分かるようにする。

- ・小泉次大夫は、みんなと協力して工事をしてきたね。

二ヶ領用水の完成期日

- ・完成は同時にして、みんなで祝ったんだね。

用水ができて、人々の生活はどのように変わったのだろうか

- ・田んぼが増えたんじゃないかな。
- ・人口も増えそうだ。

米の石高のグラフ（副読本「かわさき」）

- ・やっぱりこの地域が豊かになっている。小泉次大夫たちのおかげで、この地域は発展したんだね。
- ・人々の願いがようやく叶ったんだね。

小泉次大夫たちの業績を年表にまとめよう

流下」を想起するようにする。

- 堰の工夫を実感できるように、模型で水を流す体験などをするのも良い。

- 小泉次大夫と農民、両者の願いや協力をとらえられるように、苦心・努力を分けて板書するようにする。

（知－①）

用水工事の様子を、資料を基に先人の苦心や努力、工夫を調べ、水を広く行き渡らせようとした小泉次大夫や、協力した人々の働きを理解している。

- 様々な苦心や努力があったことを想起する。

- 何のために用水を作ったか、課題や願いに立ち戻って考えるようにする。

- 年表には、課題や願い、苦心や努力、地域の発展を整

- ・年表にすると、課題が解決してみんなが喜んだ様子がわかるね。
 - ・用水が完成して、みんなの願いが叶って地域は豊かになった。
- 小泉次大夫たちは、水を得ると同じ願いのもと、みんなのために努力して、そして願いを叶え、広く地域に水を送り、豊かにした。まさに地域の恩人だね。**

⑧⑨用水に新たな課題が起こったことや、それを田中休愚が苦心や努力により解決したことが分かるようにする。

水争いの様子の想像図（副読本「かわさき」）

- ・用水のまわりで水をめぐって争っている。
- ・せっかく次大夫たちが作ったのに。

田中休愚について（副読本「かわさき」）

- ・用水も100年たって、新しい課題が出てきたんだね。
- ・今回の課題をどうやって解決したの。

田中休愚は、どのようにして水の争いを解決したのだろうか

- ・争いをしないようにきまりを作ってみんなに伝えた。
- ・公平に流すために、分量樋をつくった。

分量樋のしくみ（副読本「かわさき」）

- ・堀の幅や流れる量に差があるよ。これで本当に公平に水を分けられるのかな。

堀を使った村々（副読本「かわさき」）

- ・川崎堀は、一番遠くまで行き、使う村も多かったんだ。
- ・だから分量樋の幅も違うんだ。これなら公平。

新たな問題も出てきたけど、田中休愚は、みんなが水を使えるように、きまりをつくり用水をよりよいものにして公平に争いを解決したんだね。

⑩これまで学習してきたことを年表などにまとめ、地域の発展に尽くした先人は様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことが分かるようにする。

二ヶ領用水によって人々の生活は、どうなったのだろうか

田中休愚の業績を年表にまとめよう

理できるようにする。

(知一①)

次大夫たちの業績を年表にまとめ、用水完成により人々の願いが叶い、流域の地域が発展したことを理解している。

○次大夫の頃の時代と比較して世の中の様子を考えられるように、時代が約100年間経過していることを伝えるようにする。

(態一①)

これまでの学習を振り返り、水争いの様子からさらに調べることを見出している。

○田中休愚の働きの意味を考えられるように、分量樋の拡大図を提示したり模型を使った実験を行ったりする。

(知一①)

用水開削後の人々の生活の様子や田中休愚の苦心・努力を理解している。

- ・田中休愚も小泉次大夫に続いて、人の願いにこたえて水をめぐる問題を解決したんだね。

円筒分水について

- ・田中休愚の次の時代にも、平賀栄治が今にも残る円筒分水を作ったから、水が公平に行き届いたんだね。

小泉次大夫、田中休愚、平賀栄治などの先人たちは、様々な苦心や努力をしながら、その時代の課題を解決し、この地域を発展させてきたんだね。

⑩これまでの学習をもとに、先人の働きと地域の発展や生活の向上を関連付けて、先人が当時の地域や人々の生活の向上に貢献したことを考え表現するようにする。

(単元を振り返る学習問題)

昔の人々は、どのようにして水を手に入れたのだろうか

今まで作成してきた年表

- ・川崎では、たくさんの人たちの努力があって、その時代の課題をいつも解決してきたんだね。
- ・小泉次大夫も休愚も、一部の人たちだけでなくみんなの幸せを考えて、行動し、広い地域のくらしをよくしてきた。

二ヶ領用水レリーフ 「川崎の育ての親 二ヶ領用水」

- ・用水やそれにかかわってきた人たちが今の川崎を作ったから、今でも大切に伝えられているんだね。

昔の人々が水を得ることは長年の願いだったけど、小泉次大夫も田中休愚も、そして昔の人々も、悩み、考え、行動し、課題を解決してきた。だから人々が水を手に入れることができ、さらに地域を発展させることができたんだ。先人のおかげで今があるんだね。

(知-②)

調べたことを年表などにまとめ、地域の発展に尽くした先人は様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。

○つくった年表をもとに、先人の業績を比較・関連して考えられるようにする。

○「育ての親」という言葉の意味を問い、先人の働きを関連付けて振り返るようにする。

(思-②)

先人の働きと地域の発展や生活の向上を関連付けて、先人が当時の地域や人々の生活の向上に貢献したことを考え表現している。

1. 単元名 「わたしたちの県のまちづくり」

～伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな箱根町～

2. 単元づくりのポイント

(1) 教材化

本単元では、県内には、地場産業が盛んな地域など特色ある地域があること、それらの地域では、特色あるまちづくりを進めたり、県や市、地域住民など様々な組織や機関、人々の協力により観光などの産業を発展させたりしていることなどを基に、県内の特色ある地域の様子について理解するようにします。本単元で扱う「伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域」とは、県内で古くから伝わっている技術や技法を受け継いで行われている伝統的な工業や、古くから地域の特性を生かして独自の製品を作っている産業など、地域に密着した地場産業の盛んな地域のことを指します。伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域として箱根町を取り上げる際には、その地域の位置のほか、自然環境や産業の歴史的背景に着目して調べるようにします。

本単元は、県内の特色ある地域が大まかに分かるようにするとともに、「伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域、国際交流に取り組んでいる地域、及び地域の資源を保護・活用している地域」の中から三つ程度選択して取り上げるようにします。その際、地域の資源を保護・活用している地域としては、自然環境あるいは伝統的な文化を保護・かつようしている地域が考えられ、そのいずれかを選択して取り上げます。また、特色ある地域を選定する際には、広く県内から地域を選択し、自分たちの住んでいる市と比較しながら、それらの地域の特色を捉えることができるよう配慮する必要があります。

(2) 学習過程

本単元では、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係に着目して、例えば、どこにどのような特色ある地域があるか、その地域はどのような自然環境のところか、その活動や産業はどのような経緯で始まったか、その地域の特色を考えたりして、調べたことや考えたことを表現するようにします。

実際の指導に当たっては、まず、県全体における特色ある地域の位置や自分たちの市との位置関係などを捉え、その上で特色ある地域の様子について調べ、それらを県の白地図に整理することなどが考えられます。

(3) 学習活動

本単元では、県内の特色ある地域について、地図帳やコンピュータなどを使って調べたり、県庁や市役所などが作成した資料で特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業などを調べたりして、県の白地図にまとめるようにします。ここでは、地図帳を用いたりコンピュータなどを使ったりして必要な情報を集める技能、地図や写真などの資料を見比べながら、地域ごとの情報を読み取る技能、調べたことを白地図などにまとめる技能などを身に付けるようにすることが大切です。

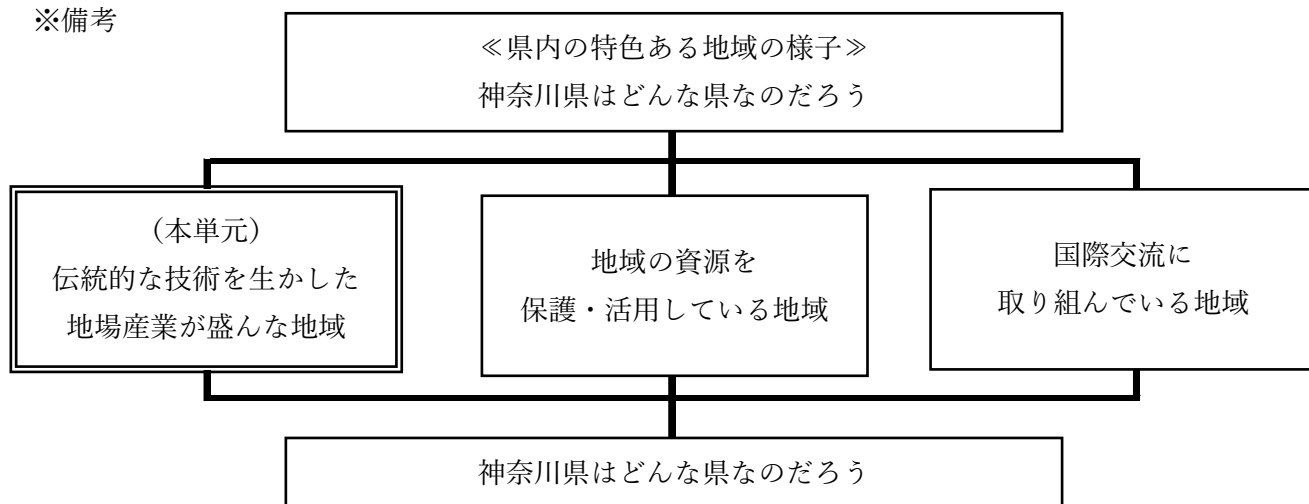
3. 単元目標

県内の特色ある地域（箱根町）の様子について、位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景などに着目し、地図帳や各種の資料などから調べたり白地図などにまとめたりして、地域の様子をとらえ、それらの特色を考え、表現することを通して、箱根町では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養う。

4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①箱根町の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景について、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、箱根町の様子を理解している。 ②調べたことを白地図などにまとめ、箱根町では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。	①箱根町の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景などに着目して問いを見出し、箱根町の様子について考え表現している。 ②箱根町の人々の活動や産業と地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、適切に表現している。	①箱根町の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

※備考



第4学年の学習を通して、社会的事象について、学習問題を主体的に解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての一員としての自覚を養うようにすることが大切です。

本単元を学年の最終単元として位置付ける際には、そのことに留意して指導し、学年の学習をまとめ、ふりかえるようにします。

5. 指導計画 (7 時間扱い)

単元の構想と予想される児童の反応	備考 (○) と具体的評価規準
<p>①箱根町の様子について、位置や自然環境、産業などに着目して問いを見出し、学習問題の解決に向けて学習計画を立て主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> <p>箱根町について調べよう</p> <p>箱根町の様子の写真 (温泉、自然) 地図帳</p> <p>わたしたちの神奈川県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然がいっぱいだね。・川崎市とはちがうね。 <p><u>位置</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱根町は神奈川の西側にあるね。 <p><u>地形・土地利用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・山や森林に囲まれているね。 ・温泉など自然を生かした観光地になっているんだ。 <p>寄木細工の製品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とてもきれいな模様だ。 ・箱根だけで作られているなんてすごい。 <p>(単元を見通す学習問題) なぜ箱根町で寄木細工が作られるようになったのだろうか</p> <p>予想をもとに、学習計画を立てよう</p> <p><u>歴史的な視点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔から、観光地でお土産に作られていたんじゃないかな。 <p><u>地理的な視点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱根町には木がたくさんあるから、材料がたくさんあったんじゃないかな。 <p><u>人々の協力関係の視点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作る職人が工夫しているからじゃないかな。作り方も知りたいな <p>箱根町と寄木細工についてこれから調べていきたいな。</p> <p>③箱根町の自然環境や歴史的背景に着目して資料で調べ、箱根町で寄木細工が作られた理由について分かるようにする。</p>	<p>○箱根町の自然環境や産業に興味をもてるように、箱根町には、自然や自然を生かした産業があることがわかる写真を提示する。</p> <p>○箱根町の位置や、地形・土地利用の様子を地図帳や私たちの神奈川県からとらえられるようにする。</p> <p>○寄木細工に関心をもてるように、寄木細工が箱根町だけにある名産であることを知らせる。</p> <p>(思-①) 箱根町の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景などに着目して、問いを見出している。</p> <p>(態-①) 箱根町の伝統工芸について、学習問題の解決に向けて予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p>

寄木細工の歴史（本間木工所 HP Q&A）

- ・ 200 年も前からお土産で売られていたんだね。
- ・ なんで 200 年も前から作っているのかな。

なぜ 200 年も前から箱根町で寄木細工が作られているのだろうか

箱根町のあゆみ（箱根町 HP）

宿場町の写真（横浜国道事務所 HP 東海道への道）

- ・ 箱根町は昔から、宿場町として栄えていたんだね。
- ・ 豊かな自然や、温泉を生かした観光地だったんだ。

本間木工所 HP Q&A

- ・ たくさんの方がお土産として寄せ木細工を買っていたんだね。
 - ・ 箱根町には、多くの木があったから、寄せ木細工が作られたんだね。
- 200 年も前から、箱根町で寄せ木細工が作られるようになったのは、昔から、材料となる木が豊富で、温泉があって人が集まる街だったからなんだね。**

④ 寄せ木細工の作り方と職人の活動に着目して資料で調べ、作り方の工夫や職人の努力が分かるようにする。

寄せ木細工はどうやって作られているのだろうか

寄せ木細工の作り方の動画

職人さんの話

- ・ 寄せ木細工は木を張り合わせて、かんなどで薄くけずって作られているんだ
 - ・ 職人さんは、難しそうな作業を受け継いできたんだね。
- 寄せ木細工は、職人さんが手作業で、木を組み合わせで作っているんだね。職人さんが昔からの伝統的な技術を受け継いで作り続けてきたんだね。**

⑤ 職人の活動に着目して調べ、職人が寄せ木細工を残すために活動していることが分かるようにする。

寄せ木細工職人が減少しているグラフ

- ・ 職人さんたちの数が減っているんだね。

○ 温泉の利用や東海道の往来が 200 年以上も前から行われていたことがわかるように、年表や写真を用いるようにする。

（知－①）

箱根町の自然環境や歴史的背景に着目して、資料から必要な情報を読み取り、寄せ木細工が作られた理由について理解している。

○ 職人の活動の様子がよく伝わるように、映像資料を用いる。

（知－①）

寄せ木細工の作り方や職人の活動について資料から調べ、作り方の工夫や、職人の努力について理解している。

・このままだと寄木細工を作る人がいなくなるんじゃないかな。

寄木細工を残すために職人さんは、どのようなことをしているのだろうか

寄木細工の様々な製品の写真

職人の話（教科書）

町役場の方の話

- ・若い職人さんたちは、新しい製品などに挑戦して、寄木細工を残そうと努力しているんだね。
- ・伝統を伝えようと、いろいろなところでPRしているんだ。
- ・町役場の方も、協力して寄木細工の良さを伝えていこうとしているんだね。

職人さんたちは、寄木細工を残すために、新しい製品をつくり、寄木細工のすごさを伝えようとしているんだね。そこには役場の協力があって、伝統を守っていこうとしているんだね。

⑥これまで学習してきたことから、箱根で寄木細工が作られている理由について考え、表現するようにする。

寄木細工の原料の入手先

- ・箱根の木は、使っていないんだね。
- ・どうしてそこまでして、作り続けているんだろう。

なぜ、わざわざ木を買ってまで寄木細工を作り続けるのだろうか

- ・伝統を守っていきたくないんじゃないかな。

職人さんの話

学習したノート

- ・寄木細工は箱根の特徴をいかした箱根にしかない物だから昔から続く伝統を守りたいんだね。
- ・これまでの伝統や、技術をずっと伝え続けていきたいと思っているんだね。

わざわざ木を買ってまで寄木細工を作るのは、箱根にしかない技術や伝統を守り伝えていくためなんだね。

⑦調べて分かったことを白地図や図にまとめ、職人の活動と地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして考え、箱根町では、人々が協力して産業の発展に努めていることが分かるようにする。

○疑問がもてるように、寄木細工に関わる人が減っているグラフを提示する。

○寄木細工で新たな製品が作られていることから、寄木細工を残そうと工夫していることをとらえられるようにする。

(知-①)

職人の活動に着目して、資料から必要な情報を読み取り、寄木細工を残そうとする活動について理解している。

○日本全国や海外から木を集めて寄木細工を作っていることから疑問がもてるようにする。

(思-②)

歴史的背景や自然環境、職人の働きに着目して、寄木細工を守り続けようとする箱根町の様子について考え、表現している。

(単元を振り返る学習問題)

なぜ箱根町で寄木細工が作られるようになったのだろうか

調べてきたことを白地図や図にまとめよう

学習したノート

- ・ 寄木細工は、木がたくさんあることや宿場町で栄えた箱根町の特徴をいかして作られているよ。
- ・ 200年続く伝統を今でも守り続けようとしている。

箱根町は、200年前から、箱根の木を生かした寄木細工を名産品として職人さんたちが作り続けている。職人さんの減少などの危機もあるけれど、寄せ木細工の技術や伝統を受け継ごうとしている。川崎市と比べると、寄せ木細工のような伝統を守り続け大切にしているまちだ。

○学習問題について自分の考えを書くために、箱根町で寄木細工が盛んな理由を図にまとめるようにする。

(思-②)

学習したことを基に、箱根町の特徴について、職人の活動とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして考え、表現している。

(知-②)

調べたことを白地図などにまとめ、箱根町では、人々が協力し、産業の発展に努めていることを理解している。

1. 単元名 「わたしたちの県のまちづくり」

～地形や気候、自然環境を生かして発展する三浦市～

2. 単元のポイント

(1) 教材化

本単元では、県内には、自然環境を保護・活用している地域があること、それらの地域では、特色あるまちづくりを進めたり、県や市、地域住民など様々な組織や機関、人々の協力により観光などの産業を発展させたりしていることなどを基に、県内の特色ある地域の様子について理解するようにします。本単元で扱う「地域の資源を保護・活用している地域」とは、人々に様々な恵みをもたらしている自然の風景や歴史的景観、文化財や年中行事、その土地の特性を生かした産物などを地域の資源として保護・活用している地域のことを指します。自然環境を保護・活用している地域として三浦市を取り上げる際には、その地域の位置のほか、自然環境や産業の歴史的背景、人々の協力関係に着目して調べるようにします。

本単元は、県内の特色ある地域が大まかに分かるようにするとともに、「伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域、国際交流に取り組んでいる地域、及び地域の資源を保護・活用している地域」の中から三つ程度選択して取り上げるようにします。その際、地域の資源を保護・活用している地域としては、自然環境あるいは伝統的な文化を保護・かつようしている地域が考えられ、そのいずれかを選択して取り上げます。また、特色ある地域を選定する際には、広く県内から地域を選択し、自分たちの住んでいる市と比較しながら、それらの地域の特色を捉えることができるよう配慮する必要があります。

(2) 学習過程

本単元では、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係に着目して、例えば、どこにどのような特色ある地域があるか、その地域はどのような自然環境のところか、その活動や産業はどのような経緯で始まったか、人々はどのように協力しているかなどの問いを設けて調べたり、その地域の特色を考えたりして、調べたことや考えたことを表現するようにします。

実際の指導に当たっては、まず、県全体における特色ある地域の位置や自分たちの市との位置関係などを捉え、その上で特色ある地域の様子について調べ、それらを県の白地図に整理することなどが考えられます。

(3) 学習活動

県内の特色ある地域について、地図帳やコンピュータなどを使って調べたり、県庁や市役所などが作成した資料で特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業などを調べたりして、県の白地図にまとめるようにします。ここでは、地図帳を用いたりコンピュータなどを使ったりして必要な情報を集める技能、地図や写真などの資料を見比べながら、地域ごとの情報を読み取る技能、調べたことを白地図などにまとめる技能などを身に付けるようにすることが大切です。

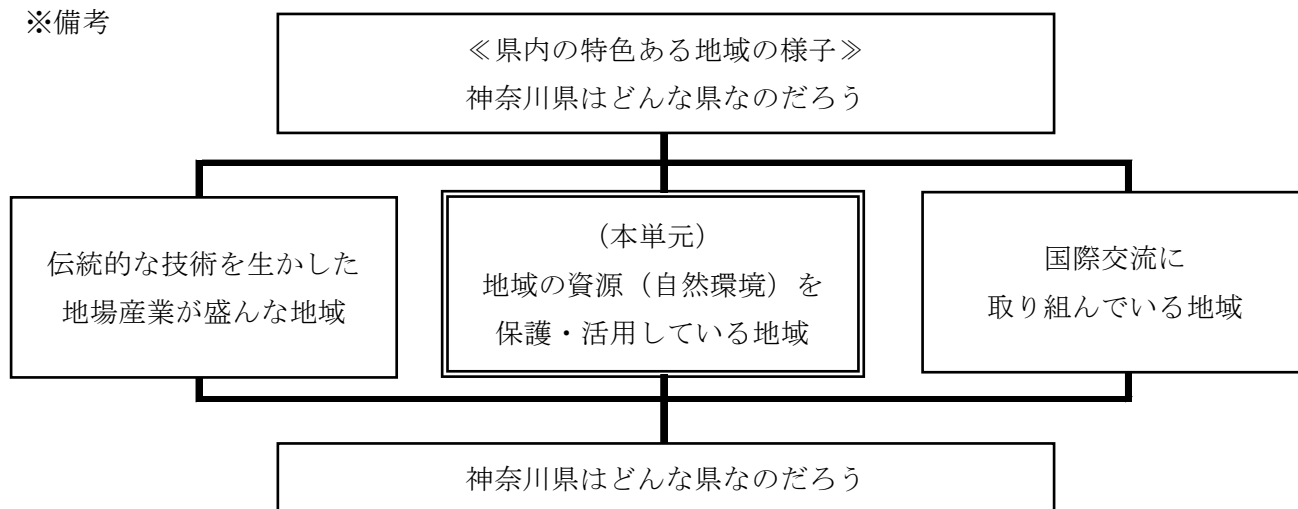
3. 単元目標

県内の特色ある地域（三浦市）の様子について、位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目し、地図帳や各種資料で調べたり白地図などにまとめたりして、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することを通して、三浦市では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養う。

4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①三浦市の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて必要な情報を集め、読み取り、三浦市の様子を理解している。 ②調べたことを白地図などにまとめ、三浦市では、人々が協力し、特色あるまちづくりや産業の発展に努めていることを理解している。	①三浦市の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して問いを見出し、三浦市の様子について考え、表現している。 ②三浦市の人々の活動や産業と地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、表現している。	① 三浦市の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

※備考



第4学年の学習を通して、社会的事象について、学習問題を主体的に解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての一員としての自覚を養うようにすることが大切です。

本単元を学年の最終単元として位置付ける際には、そのことに留意して指導し、学年の学習をまとめ、ふりかえるようにします。

5. 指導計画 (7 時間扱い)

単元の構想と予想される児童の反応	備考 (○) と具体的評価規準
<p>①②三浦市の様子について、位置や自然環境、産業などに着目して問いを見出し、予想や学習計画を立て主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> <p>三浦市について調べよう</p> <p>三浦市の風景の写真 (漁港・畑・海など) 地図帳</p> <p>わたしたちの神奈川県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マグロなどたくさんの魚が港に集まっているね。 ・川崎にも海があるけど、三浦では漁業がさかんなのかな。 ・川崎市と違って農業がさかんなのかな。 <p><u>位置</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三浦市は神奈川県<small>の南東</small>にあるね。 ・川崎市の南側にあるよ <p><u>地形・土地利用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三浦半島は太平洋に突き出しているね。周りは海が多いね。 ・畑や森林が多いな。キャベツや大根の絵がかいてあるよ。 <p>三浦市の市章</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マグロや大根が市のマークになっているの？それだけ有名な産業なのかな。 <p>(単元を見通す学習問題) 三浦市はどのような特色があるまちなのだろうか</p> <p>予想をもとに、学習計画を立てよう</p> <p><u>産業の視点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業や農業など有名な産業についてもっと調べたいな。 <p><u>まちづくりの視点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然や産業を生かしたまちづくりをしているのかな。 <p><u>人々の協力関係の視点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三浦市の人々のはまちづくりや産業に関して何か工夫をしているのかな <p>三浦市と自然を生かした産業やまちづくりについてこれから調べていきたいな。</p>	<p>○三浦市の自然環境や産業などに関心がもてるようになるために、川崎では見られない風景を提示するようにする。</p> <p>○三浦市の特色を大まかにとらえられるように、川崎と比べるようにする。</p> <p>○市の産業とまちづくりの密接な関係に気づけるようにするとともに、学習計画につなげられるようにする。</p> <p>(思－①) 三浦市の様子について、位置や自然環境、産業などに着目して問いを見出している</p> <p>(態－①) 三浦市の様子について学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p>

③三浦市の自然環境や歴史的背景に着目して各種資料で調べ、地域の特性を生かした漁業がさかんでいることが分かるようにする。

三崎市場の写真

- ・マグロを買うために市場に人が集まっているよ。
- ・マグロがはじめから冷凍されている。

マグロの分布図

- ・三浦市の近くではマグロはいないみたいだよ。
- ・世界の遠い海で取れたマグロが集まるんだね。

なぜ三浦市に世界中のマグロが集まるのだろうか

- ・海が近いから港ができているのかな。
- ・三浦からだ、いろいろなところに運びやすいのかな。

三浦市魚市場 HP

- ・三崎漁港は、自然の防波堤があり、地形に恵まれていて昔から漁業が盛んなんだね。
- ・大きな船も着けやすい地形なんだね。

加工場や輸送の様子

- ・港で集められたマグロをすぐに加工できるんだね
- ・そのまま人口の多い都市に届けることができるんだね

三浦市は、自然や地形を生かして漁業を盛んにしてきたまちだった。そしてそれらを大都市に運ぶことができる。だから遠くの海で取れた世界中のマグロが集まるまちなんだ。

④三浦市では豊かな海を保護・活用してまちの産業をさかんにしていることを分かるようにする。

三浦市の近くで取れる魚

- ・マグロは三浦の近くにはいなかったけど、三浦市のあたりもいろいろな魚がいるみたいだよ。

三浦市の近くの海ではどんな漁業をしているのだろうか

○三浦市の近くで名物のマグロが取れないことから疑問をもてるようにする。

○まちと産業のつながりをとらえられるように、地形を地図で確認したり、加工工場を写真で提示したりするようにする。

(知-①)

三浦市の自然環境や漁業の歴史的背景に着目して各種資料で調べ、地域の特性を生かした漁業がさかんであることを理解している。

魚市場の写真

松輪サバの紹介

- ・魚市場では、沿岸の魚もたくさん扱っているんだね。
- ・豊かな海で育った「松輪サバ」は三浦市の名物にもなっているんだね。

水産技術センターの取り組み

- ・魚をただ獲るだけでなく、育てる努力をすることで三浦の海を守ろうとしているんだね。

三浦市は、豊かな海の魚をまちの名物にしたり、海の魚を守ったりする取り組みをしている。自然を生かして産業をさかんにしているんだね。

⑤三浦市の自然環境や農家の作業に着目して各種資料で調べ、地域の特性を生かした農業がさかんでいることが分かるようにする。

三浦市の大根の生産量

- ・三浦市は、大根の生産量が日本一だ。

なぜ三浦市では大根の生産が多いのだろうか

- ・大根が育ちやすい地域なのかな。
- ・きっと作り方を工夫しているんだよ。

大根づくりの作業の様子

- ・海の強い風を防ぐ工夫をしているね。
- ・土や、暖かい気候も農業にあっているんだね。

大根干しの様子（写真）

- ・海岸で潮風を浴びておいしくなるんだね。
- ・この風景は三浦市の名物でもあるんだ。

三浦市は、農業に適した土地や気候を生かし、工夫して作業することで大根づくりを盛んにしているんだね。

⑥今までの学習を見直し、様々な立場の人々の協力関係に着目し、それらの活動と地域の発展を関連づけて三浦市の特色を考え、表現するようにする。

○とる漁業と育てる漁業の両面から工夫や努力をとらえられるようにする。

(知-①)

三浦市では豊かな海を保護・活用してまちの産業を盛んにしていることを理解している。

○三浦市が日本有数の大根の産地であることに気づけるようにする。

○自然条件（地形・気候）と、それらを考慮する人々の努力の両面から解決に迫れるようにする。

(知-①)

三浦市の自然環境や農家の作業に着目して各種資料で調べ、地域の特性を生かした農業がさかんでいることを理解している。

- ・三浦市は豊かな自然を生かして、他の地域ではなかなか真似できない産業をしているんだね。
- ・三浦市ならではの名物も多かったね。

第1次産業の年齢別の割合

人口の減少を表すグラフ

- ・こんなに魅力あるまちでも、乗り越えなくてはいけない問題があるんだね。
- ・農家の人も漁業をしている人も困っているんだ。

三浦市の人たちは、これからの未来に向けてどんなことをしているのだろうか

- ・三浦市のよさをもっと PR する必要があるんじゃないかな。
- ・今までに学習した、海を守る取組なども大切だと思うよ。

朝市・夜市、各種イベント

「うらり」のパンフレット

- ・農家さんたちだけでなく、三浦市の人たちが協力してイベントを開催しているんだ。
- ・地域のよさを伝える施設があるんだね。

三浦市には課題もあるけれど、立場の違う人々が協力して、市のよさや強みを PR したり、イベントを起こしたりしてまちを盛り上げようとしているんだね。

⑦調べてわかったことを白地図や表にまとめ、三浦市では人々が協力し、特色を生かしてまちの発展に努めていることが分かるようにする。

(単元を振り返る学習問題)

三浦市はどのような特色があるまちなのだろうか

調べてきたことを白地図や表にまとめよう

今まで調べた資料など

- ・三浦市は、豊かな自然を生かしてマグロ漁業や農業が盛んな地域だった。
- ・さらに、地域の名物を、三浦市の人たちみんなで応援してまちを盛り上げていたよね。

三浦市は、地形や気候などの自然環境を生かして、農業・漁業・産業が行われている。また、それらを未来へとつなげる取

○既習をもとに、どんな立場の人々がどのように産業に携わってきたか振り返るようにする。

○観光客を増やすために、第1次産業就労者だけでなく、三浦市全体で協力していることに気付けるようにする。

(思-②)

様々な立場の人々の協力関係に着目し、それらの活動と地域の発展を関連づけて三浦市の特色を考え、表現している。

○人の協力や自然を生かす様子など、共通点を見いだしながら学んだことを表にして整理できるようにする。

(知-②)

調べてわかったことを白地

組もしている。そして、それらに**関係する農家や漁師**だけでなく、**市や市民**が協力して、まちづくりをしている。これからも、**もっと三浦の産業が発展して、観光客も増える**といいな。それに、**神奈川県**の他のところの様子も**もっと知りたい**な。

図や紹介文にまとめ、三浦市では人々が協力し、特色を生かしてまちの発展に努めていることを理解している。

1. 単元名 「わたしたちの県のまちづくり」 ～国際交流に取り組む横浜市～

2. 単元のポイント

(1) 教材化

本単元では、県内には、国際交流に取り組んでいる特色ある地域があること、それらの地域では、特色あるまちづくりを進めたり、県や市、地域住民など様々な組織や機関、人々の協力により観光などの産業を発展させたりしていることなどを基に、県内の特色ある地域の様子について理解するようにします。本単元で扱う「国際交流に取り組んでいる地域」とは、姉妹都市提携などを結び外国の都市と様々な交流を行っている地域や、国際都市を目指して市内で外国との交流活動を盛んに行っている地域のことを指します。国際交流に取り組んでいる地域として横浜市を取り上げる際には、その地域の位置のほか、活動の歴史的背景や人々の協力関係に着目して調べるようにします。そして、我が国や外国には国旗があることを理解し、それを尊重しようとする態度を育てることが大切です。

本単元は、県内の特色ある地域が大まかに分かるようにするとともに、「伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域、国際交流に取り組んでいる地域、及び地域の資源を保護・活用している地域」の中から三つ程度選択して取り上げるようにします。その際、地域の資源を保護・活用している地域としては、自然環境あるいは伝統的な文化を保護・かつようしている地域が考えられ、そのいずれかを選択して取り上げます。また、特色ある地域を選定する際には、広く県内から地域を選択し、自分たちの住んでいる市と比較しながら、それらの地域の特色を捉えることができるよう配慮する必要があります。

(2) 学習過程

本単元では、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係に着目して、例えば、どこにどのような特色ある地域があるか、その活動はどのような経緯で始まったか、人々はどのように協力しているかなどの問いを設けて調べたり、その地域の特色を考えたりして、調べたことや考えたことを表現するようにします。

実際の指導に当たっては、まず、県全体における特色ある地域の位置や自分たちの市との位置関係などを捉え、そのうえで特色ある地域の様子について調べ、それらを県の白地図に整理することなどが考えられます。

(3) 学習活動

県内の特色ある地域について、地図帳やコンピュータなどを使って調べたり、県庁や市役所などが作成した資料で特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業などを調べたりして、県の白地図にまとめるようにします。ここでは、地図帳を用いたりコンピュータなどを使ったりして必要な情報を集める技能、地図や写真などの資料を見比べながら、地域ごとの情報を読み取る技能、調べたことを白地図などにまとめる技能などを身に付けるようにすることが大切です。

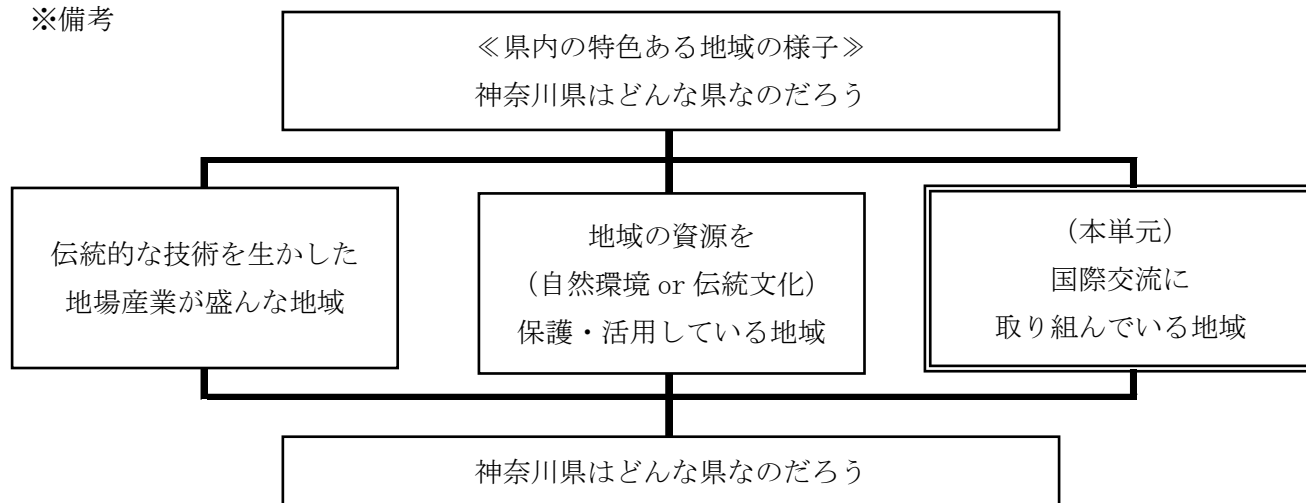
3. 単元目標

県内の特色ある地域（横浜市）の様子について、位置や人々の活動の歴史的背景、人々の協力関係などに着目し、地図帳や各種資料で調べたり白地図などにまとめたりして、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することを通して、横浜市では、人々が協力し、特色あるまちづくりに努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養う。

4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 横浜市の位置や人々の活動の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて必要な情報を集め、読み取り、横浜市の様子を理解している。 ② 調べたことを白地図などにまとめ、横浜市では、人々が協力し、特色あるまちづくりに努めていることを理解している。	① 横浜市の位置や人々の活動の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して問いを見出し、横浜市の様子について考え表現している。 ② 横浜市の人々の活動と地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、表現している。	① 横浜市の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

※備考



第4学年の学習を通して、社会的事象について、学習問題を主体的に解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての一員としての自覚を養うようにすることが大切です。

本単元を学年の最終単元として位置付ける際には、そのことに留意して指導し、学年の学習をまとめ、ふりかえるようにします。

5. 指導計画 (7 時間扱い)

単元の構想と予想される児童の反応	備考 (○) と具体的評価規準
<p>① 横浜市の様子について、位置や活動の歴史的背景や人々の協力関係に着目して問いを見出し、予想や学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> <p>横浜市について調べよう</p> <p>横浜市の写真 (横浜港、歴史、外国人観光客)</p> <p>横浜市と外国の交流都市の一覧とその国の国旗</p> <p>わたしたちの神奈川県 地図帳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔からのものがたくさんある。 ・外国の人もたくさん来ている。 ・20の外国の都市とつながっているんだね。 <p>(単元を見通す学習問題) なぜ横浜市は外国の都市と交流がさかんなのだろうか</p> <p>予想をもとに、学習計画を立てよう</p> <p><u>人々の協力関係の視点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市にしかない魅力があるのかな。 ・外国とつながりやすいからじゃないか。 ・何かつながるために取り組んでいるんだよ。 <p><u>歴史的背景の視点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔から船が来て交流していたんだよ。 <p><u>位置など地理的な視点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市にはたくさん外国の方が住んでいるからだと思うよ。 <p>横浜市には、魅力や外国の都市とつながる取り組みがあるはずだ。それについてこれから調べていきたいな。</p> <p>② 横浜市と外国の都市の交流について調べ、分かるようにする。</p> <p>横浜市は外国の都市とどのような交流をしているのだろうか</p> <p>サッカーワールドカップの様子 横浜市観光案内HP</p>	<p>○横浜市は国際交流が盛んであることに気づくよう、外国と関わりのある歴史的な建物や外国の方と交流している様子が分かる写真を用意する。</p> <p>○横浜市が外国の都市と交流している数が多いことに気づくよう、川崎市の交流都市一覧も提示する。</p> <p>○外国にも国旗があることに触れるようにする。</p> <p>(思-①) 横浜市の国際交流の様子に着目して、問いを見出している。</p> <p>○次時以降の学習の見通しがもてるよう、子どもたちの予想を板書で整理する。</p> <p>(態-①) 横浜市の様子について、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p>

国際会議の様子

横浜市国際局 HP

- ・世界中のいろいろな都市とつながりがあるんだね。
- ・世界の国々と協力をしているんだね。
- ・募金をして支援をしている。
- ・お金だけではなく、技術の支援もしている。
- ・食糧に困らないように貧しい国に送っているんだね。

横浜市は、世界中のいろいろな国とつながりをもっている。貧しい国や支援の必要な国にはたくさんの援助をしているんだね。

③ 横浜市がどのようにして外国の都市との交流を深めてきたのか調べ、分かるようにする。

横浜市はどのようにして外国の都市と交流を深めてきたのだろうか

横浜市国際局の方のお話

横浜市の国際化のあゆみ (横浜市国際局 HP)

- ・外国とのつながりで大切なのは相手を知ることなんだね。
- ・お互いを分かり合う気持ちがあるから交流が続いているんだ。
- ・これからもお互いに関わり合うことが大切だと考えているよ。

横浜市では、古くから外国とのつながりがあり、今でも大切にしている。これからもお互いを分かり合いながら交流を続けていこうとがんばっているんだね。

④ 横浜市の人々が外国の人とどのように交流しているのか調べ、分かるようにする。

地域に住む外国の人とどのような交流をしているのだろうか

横浜市多文化共生まちづくり指針 (横浜市国際局 HP)

- ・横浜市に住む外国人の方が年々増えているんだね。
- ・地震などの災害がきっかけで取り組みが進んでいる。
- ・国際的なスポーツの大会も増えてきているからもっとよりよく暮らせるようにする必要があるんだね。

横浜市国際交流ラウンジ

○横浜市が取り組んでいる様々な事業に目を向けられるように、観光案内や市の資料を用意しておく。

(知一①)

学習問題の解決に向け、資料から必要な情報を集め、読み取り横浜市と外国の都市の交流について理解している。

○横浜市の取り組みで大切にしていることに触れられるようにするよう、担当の方のお話を伺い資料化しておく。

(知一①)

学習問題の解決に向け、資料から必要な情報を集め、読み取り横浜市と外国の都市の交流の歴史について理解している。

○市役所や市民が協力してまちづくりをしていることに気づくように、市民が国際交流に

- ・外国人の方がいろいろな情報を得ることができるんだね。
- ・日本語教室もひらかれているんだ。
- ・横浜市が中心となって交流をしているんだね。
- ・たくさんの市民のボランティアが協力しているんだ。

横浜市では、市内に住む外国人の方が安心して暮らせるように環境を整えている。それには、市民のみんなが協力して交流できる場や相談できる場をつくっているんだ。

⑤ 横浜市が外国の都市と交流が深いことについて、自分の考えをまとめ表現するようにする。

(単元を振り返る学習問題)

なぜ横浜市は、外国の都市と交流がさかんなのだろうか

横浜市国際局の方のお話

学習した記録・ノート

横浜市は、古くから外国とのつながりがあり、今でも外国を助けたり、外国人の方が安心して暮らせるようにしたりしている。だから外国との交流がさかんなんだね。

⑥ 調べて分かったことを白地図や紹介文にまとめ、横浜市では人々が協力し、特色を生かしてまちの発展に努めていることが分かるようにする。

横浜市は、どのような特色があるまちなのだろうか

- ・横浜市では、昔から外国との交流があったね。
- ・今でも外国との交流が深いね。
- ・外国の方にも住みやすいまちにしているね。

横浜市のよさを伝えるパンフレットをつくろう

今まで調べた資料など

横浜市は、世界中のいろいろな国とつながりをもっている。貧しい国や支援の必要な国にはたくさんの援助をしている。古くから外国とのつながりがあり、今でも大切にしている。外国人の方が安心して暮らせるように、市役所や市民のみんなが協力して交流できる場をつくっている。横浜市は外国とのつながりを大切に考えて取り組んでいるすてきなまちなんだね。

関わっている様子が分かる資料を用意する。

(知一①)

学習問題の解決に向け、資料から必要な情報を集め、読み取り横浜市と外国の都市の交流の市民の取組について理解している。

(思一②)

横浜市の国際交流の様子について調べたことをもとに、現在、過去、地域の交流について調べたことを関連付け、国際交流の盛んな横浜市の特色を考え、適切に表現している。

○交流のある国にも国旗があることに触れるようにする。

(知一②)

調べてわかったことを白地図や紹介文にまとめ、横浜市では、人々が協力し、特色を生かしてまちの発展に努めていることを理解している。

1. 単元名 わたしたちの県のまちづくり ～国際交流に取り組む横須賀市～

2. 単元づくりのポイント

(1) 教材化

本単元では、県内には、国際交流に取り組んでいる特色ある地域があること、それらの地域では、特色あるまちづくりを進めたり、県や市、地域住民など様々な組織や機関、人々の協力により観光などの産業を発展させたりしていることなどを基に、県内の特色ある地域の様子について理解するようにします。本単元で扱う「国際交流に取り組んでいる地域」とは、姉妹都市提携などを結び外国の都市と様々な交流を行っている地域や、国際都市を目指して市内で外国との交流活動を盛んに行っている地域のことを指します。国際交流に取り組んでいる地域として横浜市を取り上げる際には、その地域の位置のほか、活動の歴史的背景や人々の協力関係に着目して調べるようにします。そして、我が国や外国には国旗があることを理解し、それを尊重しようとする態度を育てることが大切です。

本単元は、県内の特色ある地域が大まかに分かるようにするとともに、「伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域、国際交流に取り組んでいる地域、及び地域の資源を保護・活用している地域」の中から三つ程度選択して取り上げるようにします。その際、地域の資源を保護・活用している地域としては、自然環境あるいは伝統的な文化を保護・かつようしている地域が考えられ、そのいずれかを選択して取り上げます。また、特色ある地域を選定する際には、広く県内から地域を選択し、自分たちの住んでいる市と比較しながら、それらの地域の特色を捉えることができるよう配慮する必要があります。

(2) 学習過程

本単元では、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係に着目して、例えば、どこにどのような特色ある地域があるか、その活動はどのような経緯で始まったか、人々はどのように協力しているかなどの問いを設けて調べたり、その地域の特色を考えたりして、調べたことや考えたことを表現するようにします。

実際の指導に当たっては、まず、県全体における特色ある地域の位置や自分たちの市との位置関係などを捉え、そのうえで特色ある地域の様子について調べ、それらを県の白地図に整理することなどが考えられます。

(3) 学習活動

県内の特色ある地域について、地図帳やコンピュータなどを使って調べたり、県庁や市役所などが作成した資料で特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業などを調べたりして、県の白地図にまとめるようにします。ここでは、地図帳を用いたりコンピュータなどを使ったりして必要な情報を集める技能、地図や写真などの資料を見比べながら、地域ごとの情報を読み取る技能、調べたことを白地図などにまとめる技能などを身に付けるようにすることが大切です。

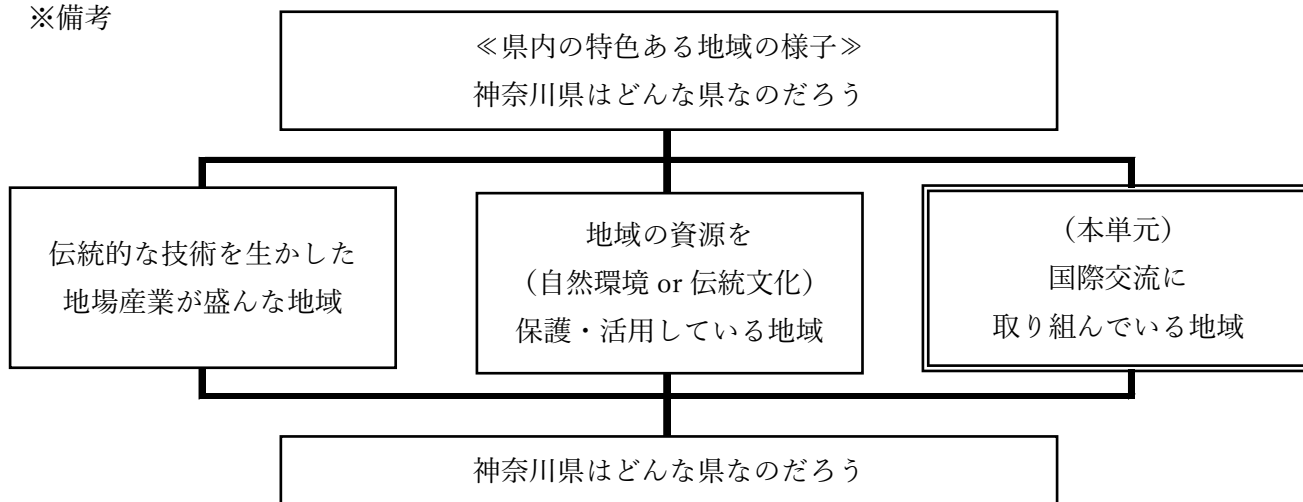
3. 単元目標

県内の特色ある地域（横須賀市）の様子について、位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目し、地図帳や各種資料で調べたり白地図などにまとめたりして、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することを通して、横須賀市では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養う。

4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①横須賀市の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて必要な情報を集め、読み取り、横須賀市の様子を理解している。	① 横須賀市の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して問いを見いだし、横須賀市の様子について考え表現している。	① 横須賀市の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
②調べたことを白地図などにまとめ、横須賀市では、人々が協力し、特色あるまちづくりや産業の発展に努めていることを理解している。	②横須賀市の人々の活動や産業と地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、表現している。	

※備考



第4学年の学習を通して、社会的事象について、学習問題を主体的に解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての一員としての自覚を養うようにすることが大切です。

本単元を学年の最終単元として位置付ける際には、そのことに留意して指導し、学年の学習をまとめ、ふりかえるようにします。

5. 単元の構想と評価（7時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○）と具体的評価規準
<p>①②横須賀市の様子について、問いを見出し、予想や学習計画を立て主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> <p>横須賀市について調べよう</p> <p>横須賀市の写真 (海、港、軍艦、公園、祭りやイベント、姉妹都市一覧)</p> <p>地図帳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県南東にあるんだね。・海に面しているんだね。 ・三浦半島にあるんだ。・大きい船があるよ。 ・公園に像がある。・たくさんの人でにぎわっているね。 ・4つの姉妹都市があるんだね。 <p>よこすかみこしパレードの様子（写真）（動画）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなでお神輿を担いでいるね。 ・たくさんの人がいるね。・外国の人もたくさんいるよ。 <p>（単元を見通す学習問題） よこすかみこしパレードはどんなお祭りなのだろう</p> <p>学習問題について学習計画を立てよう。</p> <p><u>人々の協力関係の視点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな人が参加しているのかな ・たくさん人が来るために取り組んでいるのかな。 <p><u>歴史的背景の視点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつからやっているのかな。 <p><u>位置など地理的な視点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海が近いことと関係があるかな。 <p>よこすかみこしパレードには、どんな人たちが関わって、いつからどんな活動をしているのか次の時間から調べていきたいね。</p>	<p>○横須賀市の自然環境と結びつくようにする。</p> <p>○写真の資料が次時以降の学習の視点に結びつくようにする。</p> <p>○姉妹都市の資料とともに国旗についても扱うようにする。 (アメリカ合衆国、フランス、オーストラリア、イギリス)</p> <p>○写真や動画でよこすかみこしパレードの様子がとらえられるようにする。</p> <p>(思-①) 横須賀市の位置や自然環境などに着目して、横須賀市の様子について問いを見出している。</p> <p>○次時以降の学習の見通しが持てるようにする。</p> <p>(態-①) 横須賀市の様子について、学習問題の解決に向け、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p>

③よこすかみこしパレードにはどのような人々が関わっているかについて地図帳や各種の資料で調べて必要な情報を集め、読み取り、横須賀市の様子を分かるようにする。

- ・いろいろな人たちが参加していたね。
- ・どんな人たちがいるのかな。

よこすかみこしパレードの様子（写真）（動画）

よこすかみこしパレードにはどんな人たちが参加しているのだろうか

よこすかみこしパレードのチラシ

- ・町内会の人たちが参加しているんだね。
- ・神社やお祭りの保存会の人たちも参加している。
- ・米軍基地の人たちも担いでいるんだね。

お神輿のルート・交通規制の様子

- ・長い距離を歩くんだね。
- ・市役所や駅前も歩くんだ。
- ・米軍基地の中も入れるんだね。

よこすかみこしパレードは、たくさんの市民や団体、米軍基地の人たちが参加しているんだね。市内や米軍基地の中まで通り、日本やアメリカの雰囲気が混じり合ったお祭りになっているんだね。

④横須賀市の人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて必要な情報を集め、読み取り、横須賀市の様子を分かるようにする。

- ・2019年で43回目になるんだね。
- ・参加団体も増えてきたんだね。
- ・参加している人たちはどうして参加しているのかな。

なぜ、よこすかみこしパレードは行われているのか

よこすかみこしパレードに参加した人のお話

よこすかみこしパレードのチラシや資料

- ・外国の人と互いの文化を分かり合えるように考えているね。

○参加している人に注目して学習の視点につなげられるようにする。

○チラシから参加団体に注目するとよいことを伝える。

(知-①)

横須賀市の人々の活動や人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて必要な情報を集め、読み取り、横須賀市の様子を理解している。

○パレードに参加している人の思いにふれることで、外国とのつながりを大切にしていること考えられるようにする。

○横須賀市としても国際交流を大

- ・市内に暮らすみんなが平和に暮らせるようにしたいんだね。
- ・みんな楽しく交流をしたいんだ。

横須賀市都市構想（横須賀市ホームページ）

- ・まちとして国際交流を大切にしているんだね。
- ・まちづくりのひとつとして、パレードを行っているんだね。
- ・ほかにもいろいろな活動をしているんだね。

横須賀市では、市内に住む人たちがみんなが幸せに暮らせるように、よこすかみこしパレードなどのイベントをおこなっているんだね。参加している人たちも、日本や外国とのつながりを大切にして、お互いを理解し合って暮らせるように活動しているんだね。

⑤横須賀市の人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係について地図帳や各種の資料で調べて必要な情報を集め読み取り、横須賀市の様子を分かるようにする。

お神輿のルート・交通規制の様子

- ・長い距離を歩くんだったね。
- ・米軍基地の中も入れるんだね。

よこすかみこしパレードでは、どうして米軍基地の中を通過して行くのだろうか

- ・交流を大切にしているからじゃないかな。

近代日本のルーツ 横須賀製鉄所（パンフレット）
（動画）

- ・基地の中には歴史的な建物があつたんだね。
- ・船を造っていたんだね。
- ・フランスとも関わりが深いんだね。

横須賀製鉄所創設150周年記念について
（パンフレット）

- ・150周年のイベントがあつたんだね。
- ・横須賀市の大切なものなんだね。
- ・市内外のたくさんの人に知ってもらいたいんだね。

横須賀市の米軍基地の中には、昔、造船所があつたりそこで働く外国人がいたりして、古くから外国とのつながりがあつた。イベントを開いたり、市内外の人たちに知ってもらおうと努力し続けていて、今もこれからも大切にしようとして

切にしていることを提示することで、市全体の取り組みであることにつながられるようにする。

（知-①）

横須賀市の人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて必要な情報を集め、読み取り、横須賀市の様子を理解している。

○神輿のルートを思い出すことで、本時の学習問題につながるようにする。

○現在だけではなく、歴史的に外国とのつながりが深いことに気付くようにする。

○製鉄所をめぐるツアーがあることに触れてもよい。

（知-①）

横須賀市の人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて必要な情報を集め、読み取り、横須賀市の様子を理解

いるんだね。

⑥横須賀市の人々の活動や産業と地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、表現するようにする。

横須賀市の在住外国人の推移
(横須賀市ホームページ)

- ・横須賀市に住む外国人の方が年々増えているんだね。
- ・いろいろな国の人たちが住んでいるんだね。
- ・どのように関わっているのかな。

横須賀市では、地域に住む外国の人とどのような交流をしているのだろうか

横須賀国際交流協会ホームページ

- ・外国語や外国の料理の講座があるんだね。
- ・災害が起こった時にはボランティアを派遣しているんだね。

横須賀国際交流協会の方のお話

- ・地域に住む外国の方と支え合って生活できるようにしているんだね。
- ・誰もが気持ちよく暮らせるようにしたいんだ。
- ・協会の人や市民や市役所の人たちとみんなで協力し合って活動しているんだね。

横須賀市では、市内に住む外国人の方も含めてみんなが安心して暮らせるように環境を整えているんだね。それには、市役所や団体、市民のみんなが協力して交流できる場や相談できる場をつくっているんだ。

⑦ 調べたことを白地図などにまとめ、横須賀市では、人々が協力し、特色あるまちづくりや産業の発展に努めていることを分かるようにする。

(単元を振り返る学習問題)

よこすかみこしパレードはどんなお祭りなのだろうか

調べてきたことを白地図や表にまとめよう

学習した記録・ノート

している。

○資料から、様々な人や立場の人たちが関わって外国人の方との交流をしていることに気付くようにする。

(思-②)

横須賀市の人々の活動や産業と地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、表現している。

横須賀市では、伝統的なお祭りやイベントがたくさんあり、世界中のいろいろな国とつながりをもっている。よこすかみこしパレードは、日本や外国とのつながりを大切にして、お互いを理解し合って暮らせるような祭りになっている。パレードで通る米軍基地の中には、昔、造船所があったりそこで働く外国人がいたりして、古くから外国とのつながりがあった。イベントを開き、市内外の人たちに知ってもらおうと努力し続けていて、今もこれからも大切にしようとしている。地域の外国人の方が安心して暮らせるように、市役所や市民のみんなが協力して交流できる場や相談できる場をつくっている。横須賀市は、市内外の外国や外国の方とのつながりを大切に考えて取り組んでいるすてきなまちだね。

(知一②)

調べたことを白地図などにまとめ、横須賀市では、人々が協力し、特色あるまちづくりや産業の発展に努めていることを理解している。